

## ♪「第 24 回アコーディオンコンサート」ぶらり訪問記♪

主催 仙台アコーディオンハーモニー

~~~~~

日時 2011年11月27日(日) 13:30～

会場 仙台市青年文化センター 交流ホール

~~~~~

今回は、仙台で活動している仙台アコ・ハーモニーのコンサートにお邪魔しました。

会場は仙台駅から地下鉄で 10 分ほどの「旭ヶ丘」駅より徒歩 3 分です。駅前なのに緑に囲まれ静かでとても落ち着いた環境でした。

**プログラム 1 番目は、**アコーディオン 6 人（生徒 5 人 + 講師）+ ピアノでの全員合奏「ウィーンわが夢の街」で始まり、「バラのタンゴ」「学生王子のセレナーデ」など 5 曲アコーディオン・アンサンブルが続きました。

講師も演奏に加わり全て指揮無しでの演奏です。ピアノが入りリズムがしっかり刻まれているのでアコーディオンは鍵盤のみでの演奏でした。（講師の小菅先生はベースボタンも使っていた）後半も含めアンサンブルは全て講師（小菅隆氏）による編曲とのことで、聴きなれた曲でも編曲が違うとまた新鮮な感じがします。

**2 番目は、**5 人（全員女性）のソロ演奏です。小菅先生の指導でしょうか、全体に音がよく出ているのと、ペローの切返しが上手です。したがって曲がよく流れていて気持ちのよい演奏でした。

**3 番目は、**  
ゲスト演奏です。

一人目はシャ  
ンソンで、（歌：

飯淵由美さん・伴奏：小菅先生）曲は「枯葉」「バラ色の人生」でした。歌は日本語で、低音



だけどやわらかくて魅力的な声質です。飯淵さんは、司会も勤めていました。



二人目は、佐藤憲男氏（ヨーデル：歌と演奏）です。民族衣装で登場し、まずアルプホルンで

「アメイジング・グレイス」を吹くと会場がシーンとなりました。ヨーデルの話しを入れながら歌「山へ登ろう」「誕生日のヨーデル」をアコハーモニーの五十嵐澄枝さんの伴奏で歌い、最後はスイスアコーディオンを弾きながら「うぐいすのヨーデル」を演奏。（上の写真）

**4 番目は、**再びアコーディオン・アンサンブルで「カイザーワルツ」「北上夜曲」「津軽海峡冬景色」「ふるさとメドレー」の 4 曲を演奏。構成は 1 番目と同じ指揮無しです。

中でも「北上夜曲」は全員が同じ旋律を弾くユニゾン形式での演奏で、低く太い音から次第に昇っていくメロディーが流れると会場が張り詰めた静けさに包まれ、しばし緊張する不思議な体験をしました。私だけでなく会場の多くの方が感じたようです。3 月 11 日を思い出したのでしょうか、この曲は宮城県民にとって特別な想いのある曲のようです。

**5 番目は、**“みんなで歌いましょう”で、「見上げてごらん夜の星を」「村祭り」「北上夜曲」「ふるさと」の 4 曲を会場の皆さんで歌いました。「見上げてごらん夜の星を」では、カウベルでできたハンドベルも加わり楽しい演奏でした。

下の写真は 150 人ほどの客席に向かって指揮を撮りながら演奏する様子。（乙津・記）



